

小児慢性特定疾患治療研究事業の 登録管理システムに関する研究

主任研究者 日本子ども家庭総合研究所 加藤忠明

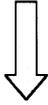
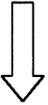
研究の概要：

小児慢性特定疾患治療研究事業の効果的な運用のため、平成9年度、「小児慢性特定疾患治療研究事業の評価に関する研究」（主任研究者、柳澤正義）が組織され、診断根拠となる症状や検査結果を記入する医療意見書を、小慢疾患10疾患群用と成長ホルモン治療用と、それぞれについて作成し、その内容を効率よくコンピューター入力するデータベース(案)を作成した。

本研究班では、小慢対象疾患のICD10コードの一部を見直し、各疾患ごとの発病率や罹患率、地域別、男女別、出生年別、発病年月別、症状別、検査結果別、経過別等の登録数の把握を容易にした。また、小慢疾患登録時に自動的に、計算、表示できる内容を検討した。患児の年月齢、発病年月齢、成長ホルモン治療の判定基準となる参考値、「内分泌疾患」や「糖尿病」における肥満度やカウプ指数等を、医療意見書の内容の入力時に自動的に表示、かつ出力できるようにした。

目次

1、総括研究報告	-----	1
2、小児慢性特定疾患名とICD10コード	-----	2
3、小児慢性特定疾患登録時の自動的表示・解析内容	---	27
4、別表1～3、表4～5	-----	42
5、研究者名簿	-----	47

 **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

研究の概要:

小児慢性特定疾患治療研究事業の効果的な運用のため、平成 9 年度、「小児慢性特定疾患治療研究事業の評価に関する研究」(主任研究者、柳澤正義)が組織され、診断根拠となる症状や検査結果を記入する医療意見書を、小慢疾患 10 疾患群用と成長ホルモン治療用と、それぞれについて作成し、その内容を効率よくコンピューター入力するデータベース(案)を作成した。

本研究班では、小慢対象疾患の ICD10 コードの一部を見直し、各疾患ごとの発病率や罹患率、地域別、男女別、出生年別、発病年月別、症状別、検査結果別、経過別等の登録数の把握を容易にした。また、小慢疾患登録時に自動的に、計算、表示できる内容を検討した。患児の年月齢、発病年月齢、成長ホルモン治療の判定基準となる参考値、「内分泌疾患」や「糖尿病」における肥満度やカウプ指数等を、医療意見書の内容の入力時に自動的に表示、かつ出力できるようにした。